



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第37回例会(4月15日)
平成28年5月13日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL(651)1111(代)
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 岩野 光法
幹事 吉江 信博
会報 福田 荘介
クラブ事務局 TEL(653)5682
FAX(653)5622

Be a gift to the world. '世界へのプレゼントになるう'…………… K. R. ラビドラン



ゲスト卓話

『ニュースキャスター 24年目の挑戦』

テレビ岩手 ニュースキャスター
柴柳 二郎様

●スピーカー紹介●

昭和35年、兵庫県神戸市生まれの56才。
青山学院大学経営学部を卒業し、昭和59年春にアナウンサーとしてテレビ岩手に入社。主に、高校野球、サッカー、岩手競馬などのスポーツ中継を担当するかたわら、平成元年から3年間は「ズームイン!!朝!」のキャスターをつとめ、岩手の情報を全国に発信。
平成5年4月から「ニュースプラス1いわて」のキャスターをつとめ、この春から24年目に突入。県政関連や選挙関連の報道特別番組も数多く担当している。現在、テレビ岩手報道制作局次長。(橋崎憲二会員)

▽自己紹介、経歴紹介

「こんばんは！ニュースプラス1いわてです」とご挨拶をして番組をスタートさせる。そんなニュースキャスターを務めて、この4月から24年目に入りました。今回、伝統ある盛岡ロータリークラブでスピーチをさせて頂くことを大変光栄に思います。

昨夜、自宅で「ニュースウオッチ9」を見ながら提出用の原稿を作り始めた直後、緊急地震速報が入り、九州で大きな地震発生と伝えました。震源地からは懸念されている南海トラフ地震ではなかったのですが、当初はこちらもそれほど緊張しなかったのですが、熊本県で震度7という一報が入って驚きました。結局、深夜まで各局の報道をみながら、原稿も書かなければいけないという辛い状況になってしまいました。ただ、皆さんもそうだと思いますが、現地・益城町の役場前に避難している方々の様子を見ながら、停電で灯りもつかず、寒さと不安に震えながら一夜を明かした5年前の3月11日の夜を思い出しました。日本は今や、どこで大地震が発生してもおかしくないということを、あらためて思い知らされました。

最初に、簡単に自己紹介とこれまでの経歴を紹介させていただきます。昭和35年生まれの方は中学1年の終わりまで13年間、兵庫県神

戸市で育ち、父の転勤で中学2年からは東京に移り大学卒業まで11年、足すと24年になりますが、高校時代に悪い遊びをいろいろ覚え、大学に入る前に2年余計な時間を過ごしました。しかし、大学では改心し、単位はぎりぎりでしたが何とか4年で卒業し、昭和59年4月、テレビ岩手にアナウンサーとして入社しました。特に、岩手県にゆかりがあったわけではなく、大学でアナウンス研究会というサークルに入っていた私にとって、放送業界に入りたいという希望を叶えるにはアナウンサー試験を受けるのが一番の近道で、募集のあった全国の放送局のアナウンサー試験を順番に受けていって、最初に内定をもらったのがテレビ岩手だったというのが正直な理由です。そんな偶然で岩手に来た私ですが、岩手でのアナウンサー人生は32年、この春から33年目に入りました。私にとってはもう、ここ岩手が故郷です。

テレビ岩手に入社した私がまず驚いたのは、スポーツ中継の数がやたらと多かったことです。当時は先発局のIBC岩手放送さんとNHKさんのテレビ3局時代で、自社制作の番組が多く、特にスポーツ中継は毎週のように何かしらありました。中心はいわて競馬の中継と夏の高校野球、高校総体、そして少年、高校のサッカー中継などです。入社したらどんな仕事をするの

かよくわかっていなかったのですが、スポーツが大好きだった私にとって、テレビ岩手は夢のような職場でした。実は、大学に入る前に2年余計にかかった私のはまった悪い遊びのひとつが競馬だったのです。馬の血統という奥の深い世界に魅せられた私は、高校時代から夏休みに北海道の馬産地の牧場に往年の名馬を訪ねたり、もちろん競馬場にも通いつめたりしていました。ですから競馬に関する知識は十分すぎるほどあって、後は地方競馬独特のルールを覚えて、すぐに競馬中継を担当するようになりました。また、神戸で生まれ育った私は父親の影響で、物心ついた時からの熱狂的な阪神タイガースのファン、そして高校野球も大好きで甲子園球場にも何度も観戦に行っていました。ですから高校野球中継も楽しくて仕方ありませんでした。

ちなみに、星野監督のもとで阪神が18年ぶりの優勝を果たした2003年に、岩手県内の阪神ファンが集まって結成した「岩手猛虎会」という応援団がありまして、私は名誉顧問という肩書を頂いています。月に1回ぐらいのペースで応援観戦会を行っていますので、もし皆さんの中に「実は阪神ファンで参加したい」という方がいらっしゃいましたら、後ほど、私に声をかけてください。次回の応援会のご案内をさせていただきます。

そんなこんなで、入社してから9年間、スポーツ中継を中心に、後は当時の「ズームイン!!朝!」の岩手からの中継リポーターを3年間つとめた私が突然、ニュースをやれと言われたのが入社10年目を迎える直前、33歳のときでした。

▽ニュースプラス1を担当

平成5年4月から私は「ニュースプラス1いわて」のキャスターになりました。ただ、スタート当時はダブルキャストで月曜から水曜が先輩の加藤浩アナ、私は木曜、金曜の週に2日で、高校野球やサッカー中継も掛け持ちで担当していました。ところが、私もよくわからない社

内的な事情で、1年2か月後の平成6年6月から、私が月曜から金曜までの毎日担当することになりました。これは自分では不満でした。さすがに月一金の帯になると、大好きなスポーツ中継がほとんどできなくなるからです。それでも会社側は「やれ!」と言う。私は意地になって、当初は月一金でニュースもやりながら、土日のスポーツ中継も担当したりしました。しかし、やはり休みがないと身体がきつく、徐々にニュースに専念していくことになりました。この月一金帯でのニュースの担当は結局、おととし9月まで20年4か月続きました。

▽東日本大震災

ニュースキャスターを続けていく中で、私も年を重ねました。15年が過ぎ、50歳が目前に迫ったころには、体力や集中力の低下を顕著に感じるようになり、そろそろ潮時ではないかと引き際を考えるようになりました。後を受け継ぐ後輩も順調に育っていました。何より、上が頑張りすぎると下が育ちません。番組には限りがあるし、大きな番組を早く経験するほどアナウンサーは成長するからです。報道部や周辺にそういうことをアピールしていたころ、51歳になって1週間後に起こったのが「東日本大震災」です。震災報道に関しては、それだけで何時間でも話せるぐらいの、私のニュースキャスター人生で勿論圧倒的なウエイトを占める出来事です。きょうの短い時間ではとても語れません。ただ、自分にとっては、生まれ故郷の神戸で21年前に阪神大震災が発生し、何より愛するここ岩手でも大震災で大津波の被害にあったことを正直、何の因果かと思わざるを得ません。結果的にこの東日本大震災が、私をさらにニュースから離れられなくしました。

▽「しばコロ」

とはいえ、何事にも終わりにはあります。実は、「ニュースステーション」の久米宏さんは18年半、「NEWS23」の筑紫哲也さんもキャスター

を務めたのは18年です。全国放送の大舞台と比較はできないし、スタートしたときの年齢も違いますが、私はひとつの節目を20年と考えていました。しかし、会社はまだ許してくれません。一応おとしの10月から、担当を1日だけ減らして月曜から木曜までの週4日にしてくれましたが、その分、去年7月から、「柴柳二郎の夢トーク」という月1回放送のトーク、対談番組を担当しています。この番組は大変楽しくやっているので感謝してはいますが、正直、スケジュールは月一金帯のときよりも厳しくなりました。

さらに、去年12月から新たな仕事を担うことになりました。それは、ニュースの最後に、その一日を締めるコラムのようなコーナーをやってくれというオーダーです。とりあえず、やれるところまで頑張ってくれと始まったのが「しばコラ」というコラムです。「柴柳のコラム」を略して「しばコラ」、天気予報の後、プラス1の最後に放送しています。時間は1分半程度とはいえ、毎日毎日コラムを作るというのは正直大変で、胃の痛くなる作業です。毎日掲載される新聞のコラムだって、一人の人間が作っているなんて聞いたことがありません。何人かの記者が交代で受け持つのが当たり前です。しかし、「しばコラ」と名付けられた以上自分で考え、作るしかありません。その苦しみの日々はもう、4か月半になりました。とりあえず自分がキャスターを務める月曜から木曜は、この4か月半一日も穴を開けることなく放送し続けています。

見たことがないという方に説明するのは難しいのですが、基本的にはその日のプラス1で伝えたニュースや話題になっていることに関連付けて、それを補足したり、プラスアルファの付加情報を提供するというスタンスで作っています。自分なりに出来が良かったと思うのは、久慈市の内間木洞で氷筍（ひょうじゅん）が公開されているというニュースを伝えた日に、かつて、長野五輪の翌年にスピードスケートの会場となったMウェブで、世界最高の高速リン

クを作ろうと人工的に作った氷筍を薄くスライスした氷を敷き詰めた氷筍リンクを作ったという話を、当時の映像を系列のテレビ信州から取り寄せて作った回。また、12月、1月に盛岡で真冬日がなかったのは気象台の観測史上2回目の珍しい事で、エルニーニョ現象が続いていることや、長期予報が暖冬傾向であることなどを紹介し、もしかすると今年の冬は盛岡で初めて「真冬日のない冬」になる可能性があるということなどを2月1日の時点で伝えたことです。結果的にその通りになりました。この真冬日ネタは3月までに3回ぐらい放送しました。

この4か月半、毎日、苦しいだの胃が痛くなるだの言っている一方で、自分が思っていた以上に、さまざまところから反応があり、今ではそれが励みにもなっています。もちろん、毎日100点満点のコラムが作れるものではありませんが、一週間に4回放送するうちの1回でも、「ほう」とか、「へえ」とか、「それは知らなかったな」と思ってもらえれば十分です。ニュースキャスター24年目に突入した今、自分が積み重ねた経験と知識のすべてをかけたチャレンジと受け止めて、日々向き合っています。

どうしても良いネタを見つけられず、「きょうはしばコラは休みます」という日がいつか来ると思います。今はそれが一日でも先であることを目指して挑戦を続けます。普段、他局のニュースをご覧になっている方に、「プラス1」をみて下さいとは申しませんが、定年間近のニュースキャスターがおそらく最後になるであろう挑戦を続けているさまを6時50分ごろにテレビ岩手をつければ、みることができるということだけは、きょう覚えて帰っていただけると、何よりの幸せです。きょうはありがとうございました。

例会報告

第37回例会 平成28年4月15日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 岩野法光会長
- ・ソング (それこそロータリー)
- ・会長報告 岩野法光会長
- ・新入会員紹介 畠山将樹会員 (南

部富士法律事務所 弁護士)
紹介者 駒木進会員

- ・ビジター 佐々木敏郎君 (盛岡西 R.C.)
- ・ゲスト 柴柳二郎様 (テレビ岩手 報道制作局次長)
- ・入会祝 塚田幸志君。
- ・誕生祝 西田直貴・岡本晃吉・藤田治彦・畠山将樹君。
- ・結婚祝 熊谷祐三君。
- ・幹事報告 吉江信博幹事

【ニコニコBOX】

- ◆熊谷隆司君…畠山さんの入会を心より歓迎致します。畠山さんは盛岡一高野球部出身で、岩手弁護士会野球部でも中核選手のスポーツマンです。
- ◆吉田育弘君…柴柳さん卓話ありがとうございました。又、ヨシダお引き立て頂いております柴柳さんのヘアースタイルをご覧ください。



出席報告 □ 会員数 /71 名 □ 出席数 /41 名 □ 出席率 /60.29% □ 前々回 / 休 会

- ・ 5月 13日(金) 新入会員卓話 荒川鉄平会員
- 20日(金) ゲスト卓話 畠山俊樹様 (NPO 法人 ポランの広場 副理事長)
「ポランの広場活動報告」
- 27日(金) パスト会長卓話 長野隆行会員
- ・ 6月 3日(金) ゲスト卓話 清水大輔様 (盛岡少年鑑別所 盛岡少年鑑別所 所長)
- 10日(金) 卓話
- 17日(金) 第4回クラブアッセンブリー
- 23日(木) ターミネートパーティー (24日例会変更)

●本号編集担当 / 佐藤 善通

●次号編集担当 / 藤田 治彦